



オブジェの前で記念撮影をする子どもたち

洞爺湖温泉の冬の風物詩となっているイルミネーショントンネル

の点灯式が11月10日、洞爺湖温泉のにぎわい広場で行われました。

LED電球35万個と電球5万個が取り付けられたトンネルはS字形で全長70m、高さ3.5m、幅4.2m。11回目となる今年は、トンネルの内部に「TOYA」の木製オブジェを新設し、写真スポットとして観光客からの人気を集めています。

富山県から旅行で訪れた夫妻は、「思ったほど寒くなく、幻想的で素敵」と感動していました。

点灯は3月4日までの午後6時から同10時。

洞爺湖温泉の冬の風物詩 イルミネーショントンネル点灯

ギャラリートーク開催 彫刻芸術の現在と未来を語る

2017ビエンナーレ特別展「触れて味わう作品展」開催中の11月11日、洞爺湖芸術館で、佐藤知哉札幌芸術の森美術館館長によるギャラリートークが開かれ、約35人が参加し、彫刻芸術の現在と未来を考えました。

佐藤氏は、彫刻芸術の歴史を「とうや湖ぐるっと彫刻公園」の彫刻や「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ」の作品、砂澤ビッキの木彫などを通じてひもといていきました。また同氏は、洞爺湖町の彫刻の特色について、護符的生活と記念碑的性格の2つ彫刻の要素が同時に存在していることに言及しました。



彫刻芸術の現在と未来を考えたギャラリートーク

初冬恒例のみそづくり教室 地場産のじゃがいも料理にも挑戦

初冬恒例のみそづくり教室（ウイメンズネットワーク洞爺湖主催）が11月14日、虻田ふれ合いセンターで行われ、会員ら22人が参加して手作りみその仕込みを楽しみました。

参加者は、手慣れた手つきで大豆15kgと米麴15kg、塩1.8kgを混ぜ合わせ、みそを仕込みました。大豆を



楽しみながらみそを仕込む参加者たち

煮ている間には、成香で農家レストラン「幸来（さっくる）」を営んでいる木村真理子さんを講師に、地場産のじゃがいもを使った料理に挑戦しました。中華風コロッケとじゃがいものガレット、じゃがいものクレープの3品を調理し、楽しく試食しました。



商品を手に取り買い物を楽しむ来場者

クリスマスを抑えた11月25日、26日の2日間、とうや水の駅

クリスマスフェア（洞爺まちづくり観光協会主催）がとうや水の駅で開かれ、カップルや家族連れらで賑わいました。

同フェアは今年で8回目。会場では、布小物やアクセサリー、雑貨、軽食、お菓子など町内や周辺市町から39店が出店。

その他、多彩なジャンルの出演者による投げ銭ライブや今年初めてのビンゴ大会も行われ、訪れた人たちは思い思いの商品を手に取りながら一足早いクリスマス気分を楽しみました。

一足早いクリスマス気分を満喫 とうや水の駅クリスマスフェア



まちのわだい

泥流犠牲の温泉小児童を追悼 温泉小で防災教育「噴火慰霊祭」

有 珠山泥流の被害で犠牲となった洞爺湖温泉小の児童を追悼する防災教育「噴火慰霊祭」が10月24日、同校で行われました。

昭和52年の有珠山噴火の翌年の10月24日に豪雨で大規模な泥流が発生し、母子2人が犠牲となり、当時温泉小2年の児童が行方不明となりました。温泉小学校では、毎年この日に慰霊祭を実施し、犠牲となった児童を悼み、防災への意識を高めてきました。

当日は、全校児童が黙とうをささげた後、立野広志さんと荒町美紀さんの両火山マイスターから有珠山噴火や当時の避難生活について話を聞きました。



火山マイスターの立野さんから噴火について学ぶ児童たち

開設10周年を迎えた洞爺湖ビジターセンターと火山科学館が記念イベント



金比羅山展望台からの絶景に驚く参加者たち

として「金比羅山展望台散策」を行い、11月3日から5日の3日間、延べ11人が参加しました。

洞爺湖ビジターセンター職員の稲村実穂さんと川瀬康平さんのガイドで、有くん火口の上であり普段立ち入ることができない金比羅山展望台までの往復約6キロの行程を歩き、秋の金比羅山を満喫しました。

参加者からは、なかなか入ることができない展望台から洞爺湖温泉が一望できる絶景に驚きの声が上がっていました。

普段見ることができない景色に驚き 金比羅山展望台散策

西 胆振行政事務組合伊達消防署洞爺湖支署洞爺出張所に、組合管内で2



寺島団長(左)にレプリカキーを手渡し真屋町長

台目となる最新鋭のポンプ車新洞爺1号車が配備され、10月27日納車式が行われました。

新しいポンプ車は、8ト対応消防専用ダブルキャブオーバー型4輪駆動車で、乗車人員は6人。圧縮空気泡消火装置(キャプス)を搭載し、通常よりも長い消火時間を確保でき、効果的な消火活動ができる消防車両となっています。

当日の納車式では、真屋町長から寺島洞爺湖消防団長にレプリカキーが手渡されました。

新洞爺1号車配備 最新鋭ポンプ車の納車式

会場全体に元気な歌声響く 洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル

年に1度町内の小中学生が集まり合唱を披露する第24回洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル(同実行委員会主催)が11月10日、洞爺湖文化センターで開催され、日頃の練習の成果を父母らに披露しました。

参加したのは、虻田、洞爺湖温泉、とうやの3小学校と虻田、洞爺の2中学校の合わせて5校です。

フェスティバルは、虻田小学校全校児童による合唱でスタート。プログラムの最後には、虻田中と洞爺中の合同合唱に続いて、小学生も加わった全員で「マイバード」を歌い、会場全体に元気な歌声を響かせました。



迫力ある歌声を披露した虻田中と洞爺中の生徒たち

まちのわだい

